

就任のご挨拶



(社)日立労働基準協会
会長 柴田 文弘

本年度より、前任者の野崎会長の後を受け継ぎ、当協会の会長を務めさせて頂くことになりましたので、紙面をお借りして、ご挨拶申し上げます。会員事業場の皆様には、平素より当協会の運営に際しまして、多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、日立労働基準監督署のご指導と、会員皆様のご支援によりまして、各種事業が順調に実施できておりますことを重ねて御礼申し上げます。さて、茨城県における労働災害の発生状況を見ますと平成十八年の死亡者は三十一人であり、戦後、統計を取り始めてからの最少数である昭和三十年と同水準となった一方、休業四日以上の被災者数は、三千六十三人であり、前年との比較では七十五人も増加となっており、三年連続の増加となっております。

また、日立労働基準監督管内における平成十八年の労働災害発生状況は、前年比で死亡災害は二件減少したものの、休業四日以上 の被災者数は、十四件の増加となっております。

全体的に労働災害の発生状況は、長期的に減少傾向にあるものの、ここ数年の下げ止まりが続いた状態から、近年は若干の増加傾向に転じております。これは、雇用形態が流動化している昨今、未熟練労働者に対する安全衛生教育が不十分であることや団塊世代の労働者が大量に退職していくことにより、安全衛生に関するノウハウが十分に継承されない等の要因が考えられます。

このような状況のもと、当協会が主催する講習会や特別教育の昨年度修了者数は、企業の景気回復による新入社員増加や、日立商工会議所への事務所移転により研修場所が整備されたことなどの好材料が重なり、過去五年間で最高の三千百四十一名となりました。会員事業場の安全衛生活動が活発化してきている事を感じると共に、当協会が果たすべき役割は非常に重要であると改めて認識しております。

引き続き関係官庁のご指導を賜りながら、当協会の運営に尽力する所存でありますので、会員事業場の皆様におかれましては、ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員事業場の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

日立労働基準監督署 人事異動 新任職員紹介(平成一九年四月一日付)

第三方面主任監督官 原田賢治
土浦労働基準監督署から赴任してまいりました。遠距離通勤ですが、毎日、電車から海が見えるのが楽しみです。安全衛生担当として、労働災害防止に努力したいと思っておりますので、ご指導、ご協力のほど、よろしく願いたします。

業務課長 益子敏夫
茨城労働局総務部総務課より赴任してまいりました。日立署勤務は初めてですが、山のみどりや海の恵み豊かなこの地での勤務を楽しみにしております。

業務担当でありますので、会員及び地域の皆様を利用しやすい監督署を目指してまいりたいと考えております。どうぞよろしく願いたします。

労災課長 梶山美智子
茨城労働局労働基準部労災補償課から転任して参りました。日立署に勤務するのは初めてで、こちらの豊かな自然や土地柄にふれることを楽しみにしております。労災保険制度を通じて業務上や通勤上で負傷された皆様、また不幸にもお亡くなりになられた方のご遺族の皆様の一助となるべく努力して参りますのでよろしく願いたします。

労災課補償係長 子安康雄
土浦労働基準監督署労災課より赴任してまいりました。日立労働基準監督署勤務は平成十三年度に労災課での勤務以来、六年ぶりとなります。久しぶりの勤務であり、また、署内のレイアウトも変わっており、初めての勤務先という気分です。仕事をさせて頂いておられます。今回も皆様方のご御協力を得ながら労災補償業務に取り組んで行きたいと思っております。どうぞよろしく願いたします。

労災課厚生労働事務官 益子良介
龍ヶ崎監督署より異動してまいりました。日立監督署での勤務は初めてであり、労働保険関係を担当いたします。初めての担当係ですが、微力ながらも皆様のお役に立てるよう努力して参りますので、よろしく願いたします。

